

教科等研究会（中学校総合的な学習の時間部会）

令和4年度 研究活動のまとめ

1 研究テーマ

生徒が主体的・創造的・協同的に取り組むことができる探究活動の在り方
～生徒一人ひとりが輝く「分かる・できる」「楽しい」授業づくりを通して～

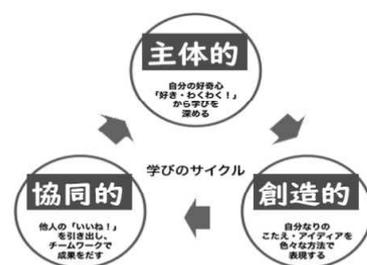
2 研究経過

| | 期日 | 人数 | 活動内容 | 場所 |
|-----|----------|----|---|---------------------|
| 第1回 | 6/9（木） | 7 | 研究テーマ・計画・組織等協議（半日） | 御船中学校 |
| 第2回 | 8/4（木） | 8 | ①地域の方からの講話 ②年間計画・評価等の見直し、作成（半日） | 御船街なかギャラリー 御船中学校 |
| 第3回 | 10/13（木） | 8 | 研究授業・授業研究会（半日） 単元名：「学習発表会に向けて」 授業者：教諭 宮川 純一 | 清和中学校 |
| 第4回 | 1/30（月） | 7 | 研究のまとめ（実践レポート研修）（半日） | 御船中学校 |

3 研究の概要

(1) 研究の内容

本部会では、「生徒が主体的・創造的・協同的に取り組むことができる探究活動の在り方」を研究テーマに設定して取り組んだ。また、学習指導要領の改訂の趣旨と要点として、「探究的な学習の過程」「各教科等で育成する資質・能力を相互的に関連付けや育成」が重視されている。本部会では、各教科で育成した資質・能力を総合的に発揮し、未知の状況に対応できる力を身につけさせたいと考えた。そのためには生徒が学びたいと思えるカリキュラムを計画的に設定し、「分かる・できる」「楽しい」という学習への満足感を高めることを目指し、副題に取り入れて研究を推進していくこととした（資料1）。

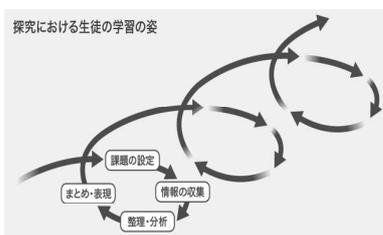


〔資料1〕研究構想図

① 学習指導要領趣旨理解の研修（第1回、第2回）

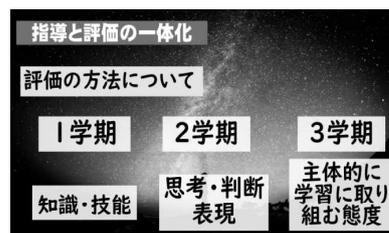
本年度も、部会員の構成が大きく変わったため、学習指導要領の改訂の趣旨や要点・目標・内容に関する改善点を確認するとともに、新学習指導要領の方向性について研修を実施した。

まずは「総合的な学習の時間とは何を学ぶ場なのか」を考え、意見交流を行った。社会に出るために必要なことを学ぶ場、地域の方々と出会わせることで自分の生き方を振り返る場など様々な意見があった。次に「総合的な学習の時間で目指したい生徒の姿」について考え、意見交流を行った。様々な出来事背景にある目に見えない価値や意味を真剣に問い掛けながら、その本質を自分なりにとらえようとしている姿であることを確認した。そのために必要なことのひとつとして「探究的な学習」が挙げられ、探究のプロセスを意識することの重要性を共有した（資料2）。



〔資料2〕探究的な学習

また、今年度は「指導と評価の一体化」のための学習評価について方向性を確認し合う場を設けた（資料3）。



〔資料3〕評価の方向性

② 上益城郡人材登録バンク（第2回、第3回）

昨年度の課題として、地域学習の系統性・連続性・発展性があると、各学校の特色を活かした学習になるということが挙げられた。しかし、総合的な学習の担当になると、地域の方々とつながりをつくるきっかけづくりに苦労することがある。

そこで、嘉島中の全体計画の中の「学習に関わる人、場所」の項目があったことに着目した。各学校ではもちろんのこと、上益城郡全体で講話活動に協力して下さる方々の人材登録バンクを設立する取組を行うこととした。

各中学校区以外の地域の方々からお話を伺うことで、自分の地域とのつながりを感じたり、もう一度自分の地域を見直す良い機会となると考えられ、地域学習の連続性や発展性につながると考えられる。

また、上益城郡人材登録バンクを作成する際には地域の方の個人情報は開示せず、連絡先を知る先生を掲載することにした。講師依頼をする時には、まずその先生に連絡し、地域の方につないでもらうシステムにした。総合的な学習の担当が、地域学習のコーディネーターとしての役割を果たすことになると考えられる。

御船LOVEクラブの会長沖田昌史さんは、上益城郡人材登録バンクの話をするると快く引き受けてくださり、ホームページも紹介して下さった（資料4）。



〔資料4〕御船LOVEクラブのホームページ

③ 地域の方（福味総一郎さん）による講話

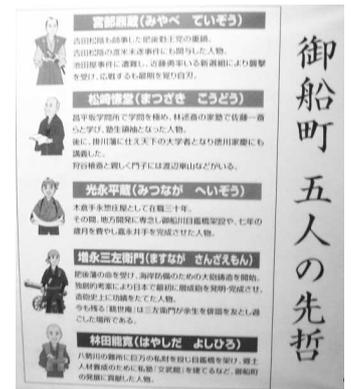
御船町で様々な町おこしの活動をされている福味総一郎さんに講話をしていただきました。場所は御船町の街なかギャラリーの南蔵で行いました。御船町の五人の先哲（資料5）の中の林田能寛の邸宅を町で修繕し、保存している施設である。

福味さんには、五人の先哲の中の光永平蔵の生き方を紙芝居を使って紹介していただいた（資料6）。光永平蔵は町の総庄屋として、深刻な水不足に悩んでいた村の人たちをどうにかして救いたいと考えた。いろいろな人の話を聞いたり、優秀な測量士の協力を得たりして、くぬぎ山に水路を通すことに成功した。「水の問題は水で解決できる」という強い信念のもと、うまくいかないことがあっても粘り強くあきらめずに取り組んだ光永平蔵の生き方を感じ取ることができた。光永平蔵の水物語は、地域で今も語り継がれ、歌としても残っているくらい、地域の宝であると語って下さった。福味さんは「それぞれが自分の役割を必死に果たそうとする姿に感動した」とおっしゃっていた。

その後、福味さんと参加者で質疑応答を通して、御船町の歴史や福味さん自身の生い立ちなどを聞かせていただいた。

【参加者の感想（資料7）】

- ・福味さんの思いが熱かった。地域の人と子どもたちを会わせたいという思いが強くなった。
- ・福味さんが、人とのふれあいを楽しんでいるように感じた。紙芝居や福味さんの話を聞いた子どもたちがどんな反応をするのかを想像して楽しみになった。
- ・学校の中だけでなく、多方面から話を聞いて吸収することが自分の中の殻を破ることにつながると思った。
- ・旧七滝中に勤めていた時、光永平蔵さんに関することが受け継がれていることを感じていた。
- ・地域の歴史など、資料館などにただ展示していても伝わらないと思った。人が人に伝えていくことが大切であることを実感することができた。



〔資料5〕御船町五人の先哲



〔資料6〕福味さんによる紙芝居



〔資料7〕感想の共有の様子

(2) 成果と課題

成果

- ・新学習指導要領の完全実施により、全体計画の考え方と様式が大きく変わったことをふまえて、各校での全体計画、年間活動計画、単元計画の見直し、作成を行うことができた。
- ・地域の良さを発信されている方との交流ができたことで、学ぶことの意味を改めて見つめ直すことができた。
- ・上益城郡人材登録バンクの設立により、学区を越えて郡全体で地域人材の活用を推進することができた。

課題

- ・新学習指導要領の目標と内容を網羅しながら、単元計画をさらに充実させる必要がある。また、単元計画の完全作成と年間活動計画にリンクさせた探究的な学習の展開を計画段階として完成させる必要がある。来年度は、県の熊本の学びステップアップ研修を取り入れていきたい。
- ・上益城郡人事登録バンクをさらに広げ、それぞれの学校のニーズにあわせて地域人材を活用しやすくできるようにしたい。

4 実践事例

(1) 授業研究会の概要

単元名「学習発表会に向けて」

授業者：清和中学校 宮川 純一 教諭

本授業は、1年生の探究学習「情報収集・まとめ・表現」の授業であった。

① 自評

- ・学習発表会で清和文楽を発表するために、よりよいものをつくるための話し合いを行い、通し稽古にのぞんだ(資料8)。
- ・タブレットを用いてモニターチェックを行うことで、根拠をもって話し合いをすることができた(資料9)。
- ・もっと他のパートとの交流の場を設けたり、より観客に対する意識をもたせる言葉かけをすればよかった。

② 質疑応答

Q 清和文楽を演じるパート分けはどのように行ったか。

A 小学生のときから決まっていた。中学生の先輩の練習動画を見て、小学生のうちにパート分けを行っていた。小中連携だけでなく、地域ぐるみで活動している。文楽館と連携し、文楽に込められた地域の人々の思いに触れたり、演技指導を受けることができた。

Q 2・3年生はどのような活動を行っているのか。

A 所作踊りを地域の方や先輩から受け継ぎ、学習発表会だけでなく、地域の祭りでも披露している。

③ 研究協議

この授業において、研究テーマ「生徒が主体的・創造的・協同的に取り組むことができる探究活動の在り方」の具現化に近づいていると感じた場面はどんなところだったのか。

【主体的】～ふるさとを誇りに思う気持ち～

- ・堂々と演じていて、地域の文化継承に誇りをもっている姿勢が感じられた。
- ・各々の役割を果たそうとして、自分から「何か練習したいところはない？」と言っていた。

【創造的】～よりよいものをつくりあげる～

- ・人形を動かしている男子生徒が、人形の首と同じ動きをしていた。文楽の世界に入り込んでいることが感じられた。
- ・人形の動きはほんの少しの表情の作り方が大切になってくるので、文楽館の方や地域の方など指導者のアドバイスがあると、もっとよいものを目指せると感じた。

【協同的】～パートごとの話し合い活動による高めあい～

- ・「セリフの間をもう少しとって」など、自分たちの三味線の演奏をよくするための要求をしながら練習していた。
- ・先生方の支持的で程よい関わりが、生徒どうしの話し合いを促すことにつながっていた。



〔資料8〕通し稽古の様子



〔資料9〕話し合いの様子



〔資料10〕研究協議の様子

(2) 学習指導案

① 本時の目標 演技の課題を見つけ、その解決に向けて見通しをもって練習することでよりよい表現ができるようになる。

② 本時の展開

| 進 | 学習活動（○予想される生徒の発言） | 指導上の留意事項 |
|-----------|--|--|
| 導入 2分 | 1 本時のめあてを確認する 【本時のめあて】 演技の課題を見つけ、よりよい表現に仕上げるができる。 | 1 最後の練習ということを伝え、何を改善することができるか意識させる。 〔見方・考え方を働かせて目標達成に向かう方向付け〕 1 今回の授業で取り組む内容を説明し、より良くするための改善点を見つけられるように、見通しをもたせる。 |
| 展開 43分 | 2 前時の演技を観る パートごとに分かれ演技を確認し、練習する点を決める。 ○この場面での演奏がまだ安定していないね。 ○□□での動きがぎこちないな。 ○太夫の声が上手く聞き取れない。 3 パートごとに練習をする お互いに意見を交換・指摘しながら練習を行う。 【期待される学びの姿】 役割を意識して、自分たちの課題を自ら見つけ、解決しようとする姿 | 2 ・各パートで話し合わせながら、どの点をさらに改善すべきか決めさせる。 ・気づいた点や気になった点などメモをとらせ、個人の振り返りに活かせるようにする。 3 パートとして合わせることを意識し、お互いの演技の息が合うようにする。 【具体の評価規準】 思考・判断・表現（方法：観察・ワークシート） ・前時の自分たちの演技を見て、課題を見だし、その解決のために何が必要かを役割ごとに考え、練習を行っている。 【到達していない生徒への手立て】 ・講師の先生に指導されたことを思い出し、自分に残る課題点を考えさせ、改善のための練習を促す。 4 全体で合わせる |
| 終末 5分 | 5 本時の振り返りをする | 5 今日の取組が上手くいったかどうかを考えさせる。 |

③ 本時の評価

○評価規準・・・①他者に自分の考えが伝わるように、目的に合わせて情報を整理したり、効果を意識して表現方法を組み合わせたりしている。

②相手や目的に応じて自分自身の考えをまとめ、適切な方法で表現している。

○評価方法・・・①②観察・振り返りシート

○評価時期・・・①②授業中と授業後